

DRUG

INFORMATION

2001 No. 16

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成13年9月17日発行

目 次

1. 院外処方医薬品について

ー平成 13 年 9 月 16 日新規登録薬品ー	1
ー平成 13 年 10 月 1 日新規登録薬品ー	2

※ Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

院外処方医薬品について

平成 13 年 9 月 16 日新規登録薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
フォサマック錠(アレンドロン酸ナトリウム水和物)	5mg/錠	骨粗鬆症治療剤	萬有
ボナロン錠(アレンドロン酸ナトリウム水和物)	5mg/錠	骨粗鬆症治療剤	帝人
ヒューマログ注カート(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマログ注キット(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/キット	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマログ注バイアル(インスリンリスプロ)	1,000 単位/10mL/V	抗糖尿病剤	イーライリリー

*アレンドロン酸ナトリウム水和物

Alendronate Sodium Hydrate

【商】フォサマック Fosamac 萬有

内用：錠剤（劇） 1 錠中 5mg

【商】ボナロン Bonalon 帝人

内用：錠剤（劇） 1 錠中 5mg

【禁】食道狭窄又はアカラシア（食道弛緩不能症）等の食道通過を遅延させる障害のある患者、30 分以上上体を起こしていることや立っていることのできない患者、本剤の成分あるいは他のビスホスホネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、低カルシウム血症の患者

【効】骨粗鬆症

【用】1 日 1 回 5mg を毎朝起床時に水約 180mL とともに投与する。服用後少なくとも 30 分は横にならず、飲食（水を除く）並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。

【副】食道穿孔、食道狭窄、食道潰瘍、食道炎、食道びらん、胃・十二指腸潰瘍、嚥下困難、胃酸逆流、鼓腸放屁、口腔内潰瘍、嘔気、便秘、下痢、胃痛、胃炎、胃不快感、消化不良、口内乾燥、腹痛、嘔吐、食欲不振、腹部膨満感、腹部不快感、口内炎、心窩部痛、胃重感、紅斑、蕁麻疹、発疹、かゆみ、脱毛、湿疹、貧血、白血球数減少、血小板数減少、AST・ALT・γ-GTP 上昇、BUN 上昇、頭痛、めまい、知覚減退、骨痛、関節痛、背部痛、筋肉痛、不眠、血管浮腫、ぶどう膜炎、LDH 上昇、CK 上昇、総コレステロール値上昇、血清リン低下、血清カルシウム値低下、胸痛、倦怠感、血清カリウム上昇、味覚倒錯、血清アルブミン低下、末梢性浮腫、下肢痛

【妊】未確立 【授】授乳回避

【小】未確立

*インスリンリスプロ Insulin Lispro

【商】ヒューマログ Humalog イーライリリー

注射：液剤（劇） 1 筒（3mL）中 300 単位

注射：液剤（劇） 1 キット（3mL）中 300 単位

注射：液剤（劇） 1 瓶（10mL）中 1,000 単位

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、低血糖症状を呈している患者

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】カート・キット 本剤は、持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。1 回 2～20 単位を毎食直前に皮下注するが、ときに投与回数を増やす。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては 1 日 4～100 単位である。

バイアル 1 回 2～20 単位を毎食直前に皮下注するが、持続型インスリン製剤を併用したり、ときに投与回数を増やす。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては 1 日 4～100 単位である。必要に応じ持続皮下注入ポンプを用いて投与する。

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫、アレルギー、発疹、痒痒感、蕁麻疹、高血糖、血糖値上昇、注射部位の腫脹・痒痒感・疼痛・硬結・発赤・リポディストロフィー

【妊】未確立、注意 【授】注意

【小】注意

【貯】遮光、2～8℃

平成 13 年 10 月 1 日新規登録薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
イミグラン錠(コハク酸スマトリプタン)	50mg/錠	片頭痛治療剤	グラクソ・スミスクライン
エボザックカプセル(塩酸セビメリン水和物)	30mg/Cp	口腔乾燥症状改善薬	第一
キプレス錠(モンテルカストナトリウム)	10mg/錠	気管支喘息治療薬	杏林
サリグレンカプセル(塩酸セビメリン水和物)	30mg/Cp	口腔乾燥症状改善薬	日本化薬
シングレア錠(モンテルカストナトリウム)	10mg/錠	気管支喘息治療薬	萬有
シングレアチュアブル錠(モンテルカストナトリウム)	5mg/錠	気管支喘息治療薬	萬有
ゾーミッグ錠(ゾルミトリプタン)	2.5mg/錠	片頭痛治療剤	アストラゼネカ
デタントール点眼液(塩酸ブナゾシン)	[0.01%] 5mL/本	緑内障・高眼圧症治療剤	参天

＊コハク酸スマトリプタン

Sumatriptan Succinate

【商】イミグラン Imigran

グラクソ・スミスクライン

内用：錠剤（劇） 1 錠中 50mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、心筋梗塞の既往歴のある患者、虚血性心疾患又はその症状・兆候のある患者、異型狭心症（冠動脈攣縮）のある患者、脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往のある患者、末梢血管障害を有する患者、コントロールされていない高血圧症の患者、重篤な肝機能障害を有する患者、エルゴタミン・エルゴタミン誘導体含有製剤あるいは他の 5-HT_{1B/1D} 受容体作動薬を投与中の患者、MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止 2 週間以内の患者

【効】片頭痛

【用】1 回 50mg を片頭痛の頭痛発現時に投与する。効果が不十分な場合には、追加投与をすることができるが、前回の投与から 2 時間以上あけること。50mg の投与で効果が不十分であった場合には、次回片頭痛発現時から 100mg を投与することができる。1 日の総投与量を 200mg 以内とする。

【副】アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状、不整脈、狭心症、心筋梗塞、てんかん様発作、蕁麻疹、発疹、動悸、一過性の血圧上昇、頻脈、徐脈、低血圧、レイノー現象、虚血性大腸炎、悪心、嘔吐、ちらつき、複視、眼振、暗点、視野狭窄、一過性の視力低下、眠気、めまい、肝機能検査値異常、痛み、熱感、

倦怠感、脱力感、重感、ひっ迫感、圧迫感、潮紅

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

＊ゾルミトリプタン Zolmitriptan

【商】ゾーミッグ Zomig アストラゼネカ

内用：錠剤（劇） 1 錠中 2.5mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、心筋梗塞の既往歴のある患者、虚血性心疾患又はその症状・兆候のある患者、異型狭心症（冠動脈攣縮）のある患者、脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往のある患者、末梢血管障害を有する患者、コントロールされていない高血圧症の患者、エルゴタミン・エルゴタミン誘導体含有製剤あるいは他の 5-HT_{1B/1D} 受容体作動薬を投与中の患者、MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止 2 週間以内の患者

【効】片頭痛

【用】1 回 2.5mg を片頭痛の頭痛発現時に投与する。効果が不十分な場合には、追加投与をすることができるが、前回の投与から 2 時間以上あけること。2.5mg の投与で効果が不十分であった場合には、次回片頭痛発現時から 5mg を投与することができる。1 日の総投与量を 10mg 以内とすること。

【副】アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状、不整脈、狭心症、心筋梗塞、頻脈、てんかん様発作、蕁麻疹、血管浮腫、心悸亢進、頻脈、高血圧、悪心、口内乾燥、傾眠、めまい、知覚減退、知覚過敏、異常感覚、頭痛、

筋肉痛、筋脱力、無力症、熱感、重圧感、絞扼感、疼痛、圧迫感

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

＊塩酸セビメリン水和物

Cevimeline Hydrochloride Hydrate

【商】エボザック Evoxac 第一

内用：カプセル剤 1個中 30mg

【商】サリグレン Saligren 日本化薬

内用：カプセル剤 1個中 30mg

【禁】重篤な虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）のある患者、気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患の患者、消化管および膀胱頸部に閉塞のある患者、てんかんの患者、パーキンソニズム又はパーキンソン病の患者、虹彩炎のある患者

【効】シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善

【用】1回 30mg を1日3回食後に投与する。

【副】間質性肺炎の増悪、めまい、振戦、不眠、うつ病、嘔気、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、唾液腺痛、唾液腺腫大、消化不良、鼓腸放屁、便秘、心悸亢進、心電図異常、脈拍不整、高血圧、頻脈、呼吸困難、肺浸潤、赤血球減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット値低下、白血球減少、頻尿、多汗、発疹、痒疹、ALT・AST・ γ -GTP・Al-P 上昇、LAP・LDH・総ビリルビン上昇、肝機能異常、尿中 NAG 上昇、尿蛋白陽性、BUN 上昇、血清アミラーゼ上昇、頭痛、胸痛、倦怠感、中性脂肪上昇、血清カリウム低下、味覚異常、総コレステロール上昇、悪寒、筋肉痛

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

＊モンテルカストナトリウム

Montelukast Sodium

【商】キプレス Kipres 杏林

内用：錠剤 1錠中 10mg

【商】シングレア Singulair 萬有

内用：錠剤 1錠中 10mg

内用：錠剤（チュアブル錠） 1錠中 5mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】気管支喘息

【用】錠 1日1回 10mg を就寝前に投与する。

チュアブル錠 6歳以上の小児には1日1回 5mg を就寝前に投与する。

【副】アナフィラキシー様症状、血管浮腫、痒疹、蕁麻疹、肝臓の好酸球浸潤、皮疹、異夢、易刺激性、情緒不安、痙攣、不眠、頭痛、傾眠、消化不良、下痢、腹痛、胃不快感、胸やけ、嘔気、嘔吐、AST・ALT・Al-P・ γ -GTP・総ビリルビン上昇、筋痙攣を含む筋痛、出血傾向、挫傷、口渇、尿潜血、血尿、尿糖、浮腫

【妊】未確立、有益のみ 【授】慎重

【未・新・乳・幼】6歳未満：未確立

【貯】遮光

＊塩酸ブナゾシン Bunazosin Hydrochloride

【商】デタントール Detantol 参天

外用：点眼剤 0.01% (5mL)

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】次の疾患において、他の緑内障治療薬で効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症

【用】1回1滴、1日2回点眼する。

【副】結膜充血、異物感、刺激感

【妊】未確立、有益のみ 【授】未確立、不可、やむを得ない場合は授乳中止

【小】未確立

【貯】遮光